



令和 6 年 4 月 5 日

令和 6 年度 原子力イノベーション留学 (Studying Abroad for Nuclear Innovation: SANI2024) 追加募集要項

東京工業大学 原子力イノベーション養成プログラム

代表 小原 徹

文部科学省補助事業「国際原子力人材育成イニシアティブ」の活動として、東京工業大学では「[原子力イノベーション養成プログラム](#)」(Nuclear Innovator Cultivation Program: NICP)を運営しており、この NICP の活動の一環として、「[原子力イノベーション留学](#)」(Studying Abroad for Nuclear Innovation: SANI) 2024 を実施いたします。

SANI2024 では、将来、原子力分野でのイノベーションを目指す大学院生の研究を支援するため、博士課程学生を米国大学の原子力系学科へ研究留学派遣の追加募集を行います。

応募資格：


国内の大学に在籍し、原子力分野の研究に取り組んでいる博士課程学生(社会人博士課程学生を除く)。本プログラムでは、日本学生支援機構の派遣条件に準じ、派遣学生は日本国籍を有する学生等又は日本への永住を許可されていることとします。

なお、できるだけ多くの学生に研究留学の機会を与えるという趣旨から、派遣は、自国以外の大学での長期研究留学経験のない学生を優先します。

研究テーマ：


原子力分野における将来のイノベーションのための研究とします。派遣後に国際共著論文、国際会議・国内会議での国際共同発表、および今後の共同研究への発展が期待できる研究テーマとします。

派遣内容：

[SANI2024 派遣学生の受入れを表明している研究室](#) での研究留学。期間は令和 6 (2024) 年 11 月から 4 ヶ月間程度。派遣大学および受入研究室は、SANI 選考委員会で応募者の審査を行ったのち、NICP 事務局が提携大学窓口教員を通じて受入研究室と調整を行い、受入研究室の意向によって決定されます。

なお受入研究室の決定にあたり、受入研究室教員とのオンラインでの面接を実施する場合があります。

派遣先：

マサチューセッツ工科大学、カリフォルニア大学バークレー校、ノースカロライナ州立大学、ミシガン大学、ウィスコンシン大学マディソン校、テキサス A&M 大学の原子力系学科で [SANI2024 派遣学生](#) の受入れを表明している研究室 

追加募集人数：

若干名

派遣支援内容：

所属キャンパスから出発空港までの往復交通費、留学先までの往復エコノミークラス航空券、現地での滞在費用 400,000 円/月（ただし滞在期間は 3 ヶ月間以上 4 ヶ月間以下。滞在月数に端数がある場合は 14 日以下支給なし。15 日以上 1 ヶ月間分支給）

応募手順と審査・採択：

1. SANI 受入研究室リストや提携大学の HP を見て、受入希望研究室を検討してください。
2. 「追加募集要項」に従って、期日までにお願いしてください。
*別途、[指導教員推薦書（様式 1）](#) を在籍大学指導教員へ依頼し、指導教員から直接 NICP 事務局 < nicp@zc.iir.titech.ac.jp > へメールで送付していただくこと。
3. 応募者に対し SANI 選考委員会による書類審査および英語面接を実施します。
4. 英語面接はオンラインで行います。約 10 分間で簡単な自己紹介と留学の意義や計画について説明してください。その後、約 10 分間程度関連する事項についての質問等に答えていただきます。
5. 審査結果上位学生の受入れ可否を NICP 事務局が提携大学窓口教員を通じて受入研究室へ打診します。この際、受入研究室教員による応募学生のオンライン面接を実施する場合があります。第 2 希望までの研究室とのマッチングが成立した場合、派遣が決定されます。
6. 採択の可否は、応募者本人および在籍大学指導教員宛に通知します。
7. 決定した派遣先は変更することはできません。

応募締切：

令和 6（2024）年 5 月 24 日（金）正午

派遣スケジュール：

- 応募受付締切： 令和 6（2024）年 5 月 24 日（金）正午
- 選考面接（Zoom）： 令和 6（2024）年 5 月 31 日（金）13:30 - 15:30
 - ※ 1 人約 20 分を予定
 - ※ 面接日時の指定や変更はできません。ご了承ください。

- **仮決定通知：** 令和 6（2024）年 6 月 7 日（金）
※ 選考結果に関する問い合わせには回答できません。ご了承ください。
- **派遣準備：** 令和 6（2024）年 6 月 - 10 月
 - ・ 在籍・受入大学での留学手続き、ビザ取得、宿舎確保、受入教員との研究詳細すり合わせ…
派遣学生が自ら行うこと
 - ・ 航空券手配・渡航費用支給…NICP 事務局が対応
- **留学派遣：** 令和 6（2024）年 11 月 - 令和 7（2025）年 2 月
- **成果発表会（Zoom）：** 令和 7（2025）年 3 月を予定

オンライン募集説明会：

令和 6（2024）年 1 月 30 日に**オンライン募集説明会**を開催し、当日の投影資料と動画を下記ページにて公開しておりますので、ご覧ください。

<https://nicp.ne.titech.ac.jp/jp/sani/index.html#a240201>

米国で研究留学をした後の米国での就労について：

米国大学での研究留学にあたっては米国 J1 ビザを取得することになりますが、J1 ビザで留学した後、2 年以内に米国でポスドク等の職に就くために就労ビザを取得する場合は別途米国政府の帰国義務免除の許可をとる必要がある場合があります。詳しくは事務局へお問い合わせください。

問い合わせ先・各種申し込み／送付先：

東京工業大学 原子力イノベーション養成プログラム事務局

- 応募申請サイト：<https://forms.gle/4pF77R2i4goPEsJg7>
- 問い合わせ先／派遣推薦書送付先：nicp@zc.iir.titech.ac.jp
- プログラムサイト：<https://nicp.ne.titech.ac.jp/jp/index.html>